

2016年3月期第2四半期 決算説明会 主要Q&A

Q：上期の大幅な増収＋114億円の要因は？

A：上期売上高は、業務ソリューションでの産業・流通・サービスのネット系・小売り向け及びPLM・生産管理等でのグローバル製造業向けの堅調な増加、金融向け大型案件の継続に加え、サービスソリューションの新日鉄住金向けが対前年＋61億増加し、対前年同期＋114億円の増収となりました。

Q：上期の売上高総利益率が大幅に改善した要因は？

A：売上高総利益率については、高水準の活動レベルの中、各プロジェクトのコントロールを基本に、標準化、ツールを活用した自動化、本体子会社の連携強化等により品質・生産性が向上したことが寄与しております。

またDCを含むクラウドサービス関連が順調に拡大したことからも上昇しました。

Q：今年度の新日鉄住金向け売上高見通しの公表が400億円から460億円に上方修正された要因は？

A：今年度は、昨年度の356億円から旧住金系のシステム業務受入れ(2年目)効果と営業基幹系等の統合Day2対応で400億円に増加する見通しを公表しておりましたが、統合効果の早期発揮に向けて、これらの活動レベルが一層向上している事に加え、各製鉄所案件も活発化している事から、今年度見通しを460億円に上方修正いたしました。

Q：今年度のクラウドビジネスの規模は？

A：昨年度は約100億円の規模でしたが、今年度はabsonne 関連を中心に当初見通しを上回る水準で成長しており、120億円程度となる見通しです。

以 上